

資料

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案（ 、 ）

平成14年10月23日 第3、4校時
3年1組 指導者 小林真由美(T1)
大森 達人(T2)

- 1 本時の目標
 - ・ 日本の伝統的な文化にふれ、調べ学習や発表を通して、日本の文化のすばらしさを感じ取ることができる。
- 2 準備
 - 折り紙 お手玉 あやとり ワークシート
- 3 展開

学 習 活 動	支援1 (T1)	支援2 (T2)
本時における学習活動を把握する。(5分) 休み時間等に行っている遊びについて考えを発表する。(10分)	日ごろ遊んでいる遊びについて、詳しく調べるとともに、発表を行うことも伝える。 休み時間での遊びを想起できるようにし、発表したものについて列挙する。	A L T に調べた遊びを紹介するとともに、最後に一緒に遊ぶことを伝える。 発表したことを板書することにより、A L T と一緒に遊ぶことのできる遊びが中心に考えられるようにする。
図書館で、自分が詳しく知りたい遊びについて調べる。(20分)	調べるにあたり、その遊びの起源や由来についても記入するよう伝える。	調べたい遊びが図書館で見つからない場合に、コンピュータを利用し、インターネットで検索することも伝える。
< 評価 > 図書館での調べ学習を積極的に行おうとしている。		
調べた遊びについてまとめを行い、発表の準備を行う。(20分) 活動中に使用される英語表現 fold twice crane fix cut zoo pull pick from under from above run turn stop throw elephant lion 等	調べて初めてわかったことや、その特徴についてまとめを行うことを伝える。	A L T に調べた遊びを説明する時に、ジェスチャーだけでなく英語が必要となる場面について練習の補助を行う。
グループごとに調べたことの発表を行う。(20分)	グループ内での発表進行係を決めて発表を行うことを伝える。 実演する際に、皆に見えるよう行うことを伝える。	A L T の立場として発表を見学し、伝わりにくい部分について助言し、再度練習することを伝え、補助を行う。
< 評価 > 発表段階において、要点をはっきりさせ、準備をした上で発表を行おうとしている。		
他のグループの発表を聞いた後に、ワークシートに感想を記入する。(10分) 次時の確認をする。(5分)	すばらしかったことや感心したこと、初めて知ったことなどを記入するよう伝える。 発表のすばらしかった点について賞賛し、次時に向けての意欲を高める。	感想を書くことが容易でない児童に発表内容を思い起こさせ、記入しやすいようにする。 発表の賞賛をし、A L T と楽しく一緒に遊ぶことができる自信をもたせる。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案 ()

平成 14 年 10 月 30 日 第 5 校時
 3 年 1 組 指導者 小林真由美(T1)
 大森 達人(T2)
 キャサリン・マッシューズ(ALT)

- 1 本時の目標 ・ 日本の伝統的な文化について、遊びを中心とした活動を ALT に紹介し、一緒に活動をするを通して、交流を深めることができる。
- 2 準備 折り紙 お手玉 あやとり ビーズ

3 展開

学習活動	支援1 (T1)	支援2 (T2)	支援3 (ALT)
英語であいさつを行う。(1分) A:Hello! How are you? B:Fine! A:Good! Let's begin. 英語の歌を歌う。(6分) 「Where are you from?」	ALTの参加を伝える。 児童と一緒に歌い、雰囲気を盛り上げる。	児童と一緒にあいさつを行い、雰囲気をづくりを心がける。 児童と一緒に歌い、雰囲気を盛り上げる。	活気のあるあいさつを行い、明るい学習の雰囲気をつくる。 リズムに乗って手拍子等を取り入れて歌い、児童の学習意欲を高めるよつにする。
ALTにグループごとに調べた遊びを披露する。(12分) <評価> 遊びの楽しさの雰囲気が伝わる発表であったか。	おもしろさが伝わるように発表することを伝える。	ALTに伝わりにくい部分については英語で説明を行う。	説明を聞いている最中は笑顔で答え、児童を安心させたい。
ALTと一緒にグループごとに遊びを行う。(16分) <評価> ALTと楽しそうに遊びの活動を行おうとしている。	ALTといっしょに遊びに参加し、雰囲気を盛り上げる。	ALTと一緒に遊びに参加し、雰囲気をも盛り上げるとともに、英語でALTに解説を行い、児童の補助を行う。	遊びに参加し、表情豊かに楽しさを表現する。
ALTの感想を聞く。(3分) 自分たちの感想を発表する。(3分) interesting happy good enjoy more 等 次時の予定を把握する。(3分) 英語であいさつを行う。(1分) A:That's all for today's lesson. Good-bye. B:Good-bye.	ALTの感想を聞き、表情豊かに児童にOKサインを送る。 一言で伝わるような表現を考えられるようにしたい。 ALTによる祖国での遊びを披露してもらうことを伝える。 児童と一緒にあいさつを行う。	難しい英語表現については日本語で解説を行う。 感情を表す簡単な英語を伝える。 ALTの遊び披露の補助を行う。 ALTと一緒にあいさつを行う。	簡単な英語で賞賛を行い、児童の満足感を得られるようにする。 児童の感想を笑顔で聞き、不安を取り除く。 オーストラリアでの遊びの1つを披露し、児童の次時への期待を高める。 明るく楽しい雰囲気を残しながらあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案 ()

平成 14 年 11 月 6 日 第 5 校時
 3 年 1 組 指導者 小林真由美(T1)
 大森 達人(T2)
 キャサリン・マシューズ(ALT)

- 1 本時の目標 ・ ALTの祖国における遊びを、一緒に行うことを通して、諸外国における遊びを楽しむことができる。
- 2 準備 ビー玉
- 3 展開

字 首 活 動	支援1 (T1)	支援2 (T2)	支援3 (ALT)
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行い、雰囲気をつくる。	ALTと一緒にあいさつを行い、雰囲気をつくる。	明るくあいさつを行い、学習の雰囲気をつくる。
英語の歌を歌う。(5分) 「Where are you from?」	児童と一緒に歌い、雰囲気を盛り上げる。	ALTと一緒に本乗りをし、リズムに乗りながら歌い、雰囲気を盛り上げる。	リズムに乗って手拍子を入れ、雰囲気をつくる。
ALT実演によるビー玉を使った遊びのデモンストラーションを見る。(3分)	児童と一緒に実演を見るが、途中から遊びに参加し、その楽しさを表現する。	ALTの補助として一緒に実演を行い、楽しそうに気を取り戻す。	祖国における遊びを児童に披露し、その楽しさや特徴を表現豊かに表す。
遊びにおけるルールの説明をALTより英語で聞く。(3分)	児童と一緒に説明を聞く。	必要に応じて英語を日本語に直し、児童に説明し、取り除く。	遊びのルールを簡易に説明し、英語で入力する。
グループでALTより紹介された遊びを行う。(21分)	児童のグループにわり、英語を使いながら遊びの進行を行う。	児童のグループにわり、英語を使いながら遊びの進行を行う。	児童のグループにわり、英語を使いながら遊びの進行を行う。
hit out aim hole win lose skip rest miss mark finish one more O.K 等	< 評価 > 仲間はずれにならず、皆と一緒に楽しそうに活動を行おうとしている。		
自分たちの感想を発表する。(5分)	難しく考えず、一言で表現できればいいことを伝える。	感情をあらわす英語表現を伝える。	感想発表を笑顔で聞き、表情で受け答えする。
ALTの感想を聞く。(3分)	児童と一緒にALTの感想を聞く。	わかりにくい英語表現については日本語にさせないようにする。	一言で表現できない英語でも児童にわかるようにする。
次時の予定を把握する。(3分)	外国の遊びについて、自分たちで調べていくことを伝える。	英語を使って行う遊びを中心に調べていくことを伝える。	英語を使って遊びのヒントをジェスチャーで示す。
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	ALTと一緒にあいさつを行う。	元気に明るく別れのあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案（ 、 ）

平成14年11月13日 第3、4校時
3年1組 指導者 小林真由美(T1)
大森 達人(T2)

- 1 本時の目標 ・ 諸外国の伝統的な遊びを調べ、発表やその遊びで活動することを通して、諸外国の文化のすばらしさを感じ取ることができる。
- 2 準備 ワークシート
- 3 展開

学習活動	支援1(11)	支援2(12)
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	元気よくあいさつし、活気のある授業の雰囲気をつくる。
英語の歌を歌う。(6分)	児童と一緒に歌い、学習の雰囲気を盛り上げる。	児童と一緒に歌い、教室の雰囲気を盛り上げる。
「About Me, About You」本時における学習活動を把握する。(5分)	日本にはない外国の伝統的な遊びについて詳しく調べるとともに、発表を行うことを伝える。	外国の遊びを調べる際に、小学生ぐらいの年齢層の子がよく遊ぶものを中心に調べたことを伝える。
図書館で、自分が詳しく知りたい遊びについて調べる。(22分)	調べるにあたり、その遊びの起源や由来についても記入するように伝える。	調べたい遊びの種類が不足の場合には、コンピュータを利用し、インターネットで検索できることも伝える。
<評価> 図書館での調べ学習を積極的に行おうとしている。		
実際に英語を使っている遊びとなる場面を考え、発音やジェスチャーの練習を行う。(20分)	児童と一緒に遊びを行う際の英語の発音練習を行う。	調べた遊びを行う際に、英語を使う場面についての発音の模範を示す。
well done pass good line hit rope strong fight go run out stop hand over win lose play end wide no striker king queen 等		
調べた発表についてワークシートに記入し、まとめを行うとともに、発表練習を行う。(25分)	初めてわかったことや、その特徴についてまとめを行うことを伝える。グループ内での進行係を決めて発表を行うことを伝える。実演する時には、他のグループも含めて行うことを伝える。	グループに分かれて遊びを行う際に、互いにあいさつや自己紹介を英語で行うための実演指導を行う。
<評価> 英語を使って表現する時に、楽しそうに取り組もうとしている。		
次時の内容を確認し、グループで話し合いを行う。(10分)	発表を行う時に必要な衣装や道具の確認を促し、グループで必要なものを次回は製作することを伝える。	発表時に必要な材料の数や大きさ、色などについてグループごとに話し合いを行っているか確認する。
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	明るくあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案（ ）

平成 14 年 11 月 14 日 第 5 校時

3 年 1 組 指導者 小林真由美(T 1)

大森 達人(T 2)

- 1 本時の目標
 - ・ 諸外国の伝統的な遊びを行う時に必要な道具や衣装を製作し、発表会に向けた意欲を高めることができる。
- 2 準備
 - 衣装、道具の製作用材料
- 3 展開

学 習 活 動	支援 1 (T 1)	支援 2 (T 2)
英語であいさつを行う。 (1分) 英語の歌を歌う。 (3分) 「About Me, About You」 本時における学習活動を把握する。(3分)	児童と一緒にあいさつを行う。 児童と一緒に歌い、学習の雰囲気盛り上げる。 準備した材料を使い、発表会に向けての道具や衣装を製作することを伝える。	元気よくあいさつし、活気のある授業の雰囲気をつくる。 児童と一緒に歌い、教室の雰囲気盛り上げる。 用意した材料の確認を行う。
グループごとに制作内容の分担を決め、道具や衣装の製作を行う。 (25分) < 評価 > 自分の役割を明確にし、発表のための準備を一生懸命に行おうとしている。	製作途中で難しい箇所については、アイデアを伝え、それでもつまずいた場合には一緒に製作する。	製作の手助けを行う。
製作した道具や衣装を使い、発表会の練習を行う。 (10分) 次時の内容を把握する。 (2分) 英語であいさつを行う。 (1分)	道具の適切な使い方や、衣装の身に着け方をグループ別に確認し、必要に応じて助言する。 発表の練習を各自が家庭で練習することや、グループでの発表後に皆でその遊びを行うことを伝える。 児童と一緒に明るくあいさつを行う。	英語の発音やジェスチャーについて忘れているグループに適切な援助を行う。 発表前に英語を忘れてしまった場合にはいつでも聞きに来てよい事を伝える。 明るく元気にあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案（ 、 ）

平成 14 年 11 月 21 日 第 3、4 校時
3 年 1 組 指導者 小林真由美 (T1)
大森 達人 (T2)

- 1 本時の目標 ・ 諸外国の伝統的な文化について、遊びを中心とした活動を、道具や衣装を用いて行い、諸外国における遊びを楽しむことができる。
- 2 準備 衣装 道具 ワークシート
- 3 展開

学 習 活 動	支援 1 (T1)	支援 2 (T2)
英語であいさつを行う。 (1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	元気よくあいさつし、活気のある授業の雰囲気をつくる。
英語の歌を歌う。 (6分)	児童と一緒に歌い、学習の雰囲気を盛り上げる。	児童と一緒に歌い、教室の雰囲気を盛り上げる。
「Our Neighbors」 本時における学習活動を把握する。 (3分)	準備した材料を使い、発表会を行うことを伝える。	英語を忘れてしまったグループについてはこの後に練習時間をとる事を伝え、不安を取り除く。
発表会に向けての最後の練習を行う。(15分) A:Hi! Howdo youdo? B:Howdo youdo? A:Let's hold out! B:OK! <評価> 発表練習を一生懸命に行おうとしている。	声の大きさや発表内容の最終チェックを行い、自信をつける。	英語の発音やあいさつなどの基本文の復習の補助をグループごとに行う。
グループごとに調べたことの発表を行う。その後、調べた遊びについて皆で行う。 (45分) <評価> 英語を使って楽しそうに表現しようとしている。	発表を行ったグループについて賞賛を与え、次時に向けての意欲を高める。	発表の後の賞賛を行い、楽しく明るく児童と一緒に遊びを行う。
他のグループの発表を聞いた後に、ワークシートに感想を記入する。 (15分)	すばらしかったことや感心したこと、面白かったことなどを記入するように伝える。	感想を書くことが容易でない児童に、発表の内容を思い起こさせ、記入しやすいようにする。
次時の内容を把握する。 (4分)	今までに紹介された日本と諸外国の遊びについていろいろ考えてみたいことを伝える。	興味をもった遊びを中心に、考えを進めていくことを伝える。
英語であいさつを行う。 (1分)	児童と一緒に明るくあいさつを行う。	明るく元気にあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案（ ）

平成 14 年 11 月 25 日 第 2 校時
3 年 1 組 指導者 小林真由美(T1)
大森 達人(T2)

- 1 本時の目標
 - ・ 今までに発表した日本と諸外国の遊びについて、その共通点や異なる点を考え、その特徴やよさに気づくことができる。
- 2 準備 ワークシート
- 3 展開

学 習 活 動	支援 1 (T1)	支援 2 (T2)
英語であいさつを行う。 (1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	元気よくあいさつし、活気のある授業の雰囲気をつくる。
英語の歌を歌う。 (3分) 「Our Neighbors」 本時における学習活動を把握する。 (3分)	児童と一緒に歌い、学習の雰囲気を盛り上げる。 各グループで今までに発表した遊びを考え、日本と諸外国との共通点や違いについて考えを進めていくことを伝える。	児童と一緒に歌い、教室の雰囲気を盛り上げる。 英語で行われた表現等を思い出すことができるよう、いくつか例をあげ、皆で発音練習する。
ワークシート の順番に従い、日本と諸外国での遊びの共通点や違いを記入する。 (20分) <評価> 日本と諸外国での遊びの共通点や違いを一生懸命に見つけ出そうとしている。	書き出しの難しい児童には、視点を焦点化した説明を行う。	机間支援のなかでワークシート記入の手助けを行う。
自分でまとめたことについて意見発表を行う。 (14分)	机間支援の中でワークシート をチェックし、挙手できない場合にも指名できるようにしておく。 発表後には必ず賞賛し、自信がもてるようにする。	出された意見を板書し、傾向がわかるようにする。
次時の内容を把握する。 (3分)	次回 A L T が来ることを伝え、今までにグループで行ってきた遊びを最後にもう一度皆で楽しむことを伝える。	今までに使ってきた英語をできるだけ使い、遊びを行うことを伝える。
英語であいさつを行う。 (1分)	児童と一緒に明るくあいさつを行う。	明るく元気にあいさつを行う。

「日本と諸外国の遊びをしよう」活動案 ()

平成 14 年 11 月 28 日 第 5 校時
 3 年 1 組 指導者 小林真由美(T 1)
 大森 達人(T 2)
 キャサリン・マシューズ(ALT)

- 1 本時の目標 ・ 今までに行ってきた日本と諸外国の遊びをALTともう一度行い、楽しんで活動することにより、異文化について理解することができる。
- 2 準備 折り紙 お手玉 あやとり ビー玉 衣装 道具 ワークシート

3 展開

学 習 活 動	支援 1 (T 1)	支援 2 (T 2)	支援 3 (ALT)
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行い、雰囲気をつくる。	ALTと一緒にあいさつを行い、雰囲気をつくる。	明るくあいさつを行い、気持ちのよい学習の雰囲気をつくる。
英語の歌を歌う。(3分) 「OurNeighbors」	児童と一緒に歌い、雰囲気を盛り上げる。	ALTと見本を示し、リズムに乗りながら歌い、雰囲気を盛り上げる。	リズムに乗って手拍子等を取り入れ、楽しそうに歌い、雰囲気をつくる。
本時における学習活動を把握する。(5分) A:Hello. My name is ~. What's your name ? B:Mynameis ~. Nice to meetyou. A:Nicetomeet you,too.	今までに行ってきた遊びを、日本、諸外国問わずにALTと一緒に楽しむことを伝える。	英語を忘れてしまったグループには個別に援助することを伝える。	遊びを一緒に行うことが楽しみだということを表情で伝える。
日本と諸外国の遊びを楽しむ。(25分) <評価> 一生懸命に英語を使いながら遊びを楽しそうに行おうとしている。	児童のグループに加わり、一緒に活動し、場の雰囲気を盛り上げる。		
自分たちの感想を発表する。(5分)	簡単に表現できるよう促す。	感情を表す簡単な英語を伝える。	笑顔で感想を聞き、楽しかったことを表情で伝える。
ALTの感想を聞く。(3分)	児童と一緒にALTの感想を聞く。	児童にわかりにくい英語表現は日本語に直し、ALTの気持ち伝わりやすくする。	できるだけ簡単な英語表現を使い、楽しかったことをジェスチャーも使い表現する。
英語であいさつを行う。(1分)	児童と一緒にあいさつを行う。	ALTと一緒にあいさつを行う。	元気に明るく別れのあいさつを行う。

あずま小学校 ハロー イングリッシュ

自分で調べたい遊び

名前 _____

調べたこと(遊び方やおもしろさ)

用意するもの

【グループでの発表を聞いた感そう】

【グループでの発表を行った感そう】

あずま小学校 ハロー イングリッシュ

自分で調べたい遊び

名前 _____

調べたこと(遊び方やおもしろさ)

用意するもの

ここで使われる英語表現 えいごひょうげん

【グループでの発表を聞いた感そう】

.....
.....
.....

【グループでの発表を行った感そう】

.....
.....
.....

【英語を使って遊びをした感そう】

.....
.....
.....

あずま小学校 ハロー イングリッシュ

名前 _____

日本の遊びと外国の遊びの共通点

日本の遊びと外国の遊びとのちがい

人数

場所

道具

季節

衣装

その他

【友だちの意見を聞いた感そうを書きましょう】